

Georg Friedrich Händel

MESSIAH

ヘンデル「メサイア」
— 預言書の世界 —

2023.6.4(日)

京都コンサートホール (大ホール)

主催：混声合唱団スコラ・カントルム神戸

女声合唱団ヴォワ・ドゥ・ママン

京都混声合唱団

後援：京都市 京都市芸術文化協会



プログラム
ヘンデル作曲
メサイア
—預言書の世界—

第1部 「預言と降誕」

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 第1曲：序曲 | 第12曲：それは、ひとりのみどり子が |
| 第2曲：慰めよ。私の民を慰めよ。 | 第13曲：シンフォニア |
| 第3曲：あらゆる谷は持ち上げられて浅くなり | 第14曲：さて、野原では羊飼いたちが |
| 第4曲：このようにして主の栄光が現わされ | 第15曲：御使いは彼らに言った |
| 第5曲：万軍の主はこう言われる | 第16曲：すると、たちまちその御使いとともに |
| 第6曲：だれがその方の来る日に耐えられようか？ | 第17曲：いと高きところでは |
| 第7曲：この方はレビの子達を純化するであろう | 第18曲：シオンの娘よ、大いに喜べ |
| 第8曲：見よ、処女が身籠って男の子を産み | 第19曲：そのとき、盲者の目は開かれ |
| 第9曲：シオンに良い知らせを伝える者よ | 第20曲：この方は羊飼いのように |
| 第10曲：見よ、圏が地の上を | 第21曲：なぜなら、この方の軛は負い易く |
| 第11曲：圏の中を歩んでいた民は、大きな光を見た | |

《休憩》

第2部 「受難と昇天」

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 第22曲：見よ、世の罪を取り除く神の子羊を | 第34曲：いったい神が、御使いの誰かに向かつて |
| 第23曲：この方は侮られて | 第35曲：神の御使たちみなに |
| 第24曲：まことにこの方は私たちの病を負い | 第36曲：あなたは虜を率いて、高みへと昇られた |
| 第25曲：彼が打たれたその傷によって | 第37曲：主が命じられると |
| 第26曲：私たちはみな、羊のようにさまよって | 第38曲：良き知らせを伝え |
| 第27曲：彼を見る者はすべて、彼をあざ笑ひ | 第39曲：彼らの声は全地に響きわたり |
| 第28曲：彼は神を信じているのだ | 第40曲：どうして、国々は騒ぎたち |
| 第29曲：あなたがこの方を誹ったので | 第41曲：彼らの枷を打ち砕き |
| 第30曲：尋ねてみよ | 第42曲：しかし、天に座する方は |
| 第31曲：この方は、あなたの民の罪のために打たれ | 第43曲：おまえは鉄の杖で彼らを打ち破り |
| 第32曲：しかし、あなたは彼の魂を | 第44曲：ハレルヤ！ |
| 第33曲：門よ、こうべを上げよ | |

第3部 「復活と永生」

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 第45曲：私は知っている | 第50曲：死よ、おまえのとげはどこにあるのか？ |
| 第46曲：死がひとりの人を通して来たのと | 第51曲：その一方で、神に感謝すべきことに |
| 第47曲：見よ、あなたがたに奥義を告げよう | 第52曲：神が私たちの味方であるなら |
| 第48曲：ラッパが鳴って | 第53曲：屠られた子羊 |
| 第49曲：死は勝利に呑まれてしまった | |



老田 裕子 (ソプラノ)	小川 明子 (アルト)	指揮	小玉 晃
大久保 亮 (テノール)	黒田 博 (バス)	管絃楽	音登夢管絃楽団
パブロ・エスカンデ (チェンバロ)	富田 一樹 (オルガン)		

合唱 混声合唱団スコラ・カントルム神戸／女声合唱団ヴォワ・ドウ・ママン／京都混声合唱団

ご挨拶

雨上がりの紫陽花が美しい季節となりました。本日は、京都混声合唱団、女声合唱団ヴォワ・ドウ・ママン、混声合唱団スコラ・カントルム神戸の三団合同演奏会にお越しいただき、厚く御礼申し上げます。

私たち三団は団員構成や活動内容などの違いを超え、同じ小玉晃氏の指導を受ける合唱団として、4年前より合同演奏会の開催を検討して参りました。途中、コロナの影響により開催が事実上白紙に戻り、各団の活動にも大きな影響が出る状況となりましたが、それを乗り越えての合同演奏会開催の運びとなりました。今回演奏致しますヘンデル「メサイア」は1741年に作曲され、マタイ受難曲と並びバロック音楽を代表する宗教作品です。旧約聖書の預言書などを元にキリストの生涯を記した内容は、第一部は預言、第二部は過去、第三部は未来へと繋がるものですが、モニタ2台を用いた挿絵表示と併せてこの預言書の世界をご提示させていただきますので、最後までご鑑賞いただければ幸いです。

今後とも私ども三団に温かいご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

令和5年6月4日

京都混声合唱団 / 女声合唱団ヴォワ・ドウ・ママン / 混声合唱団スコラ・カントルム神戸

profile

指揮 ◆ Akira Kodama

小玉 晃



京都市立芸術大学大学院で蔵田裕行氏に学んだ後渡墺。ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科修了。ドイツ歌曲をモーア、ホッター、シュライヤー、アメリング、ヘフリガー、ベリー他に、発声を宮廷歌手ニコロヴァに学ぶ。ベートーヴェン『第九』、バッハ『マタイ受難曲』などのたくさんのソリストを務める他、自らオーケストラを指揮しながらソロを歌う（振り歌い）など演奏の可能性を広げている。

クリアな歌声を生み出す独自の発声メソッドには定評があり、自身が主催する《小玉晃の音楽学校》での指導の他、国内外からの指導依頼も多い。効率よく上達できる発声体操のYouTube動画は各方面から大きな反響を得ている。

J. S. G. 国際歌曲コンクール第1位。青山音楽賞、松方ホール音楽賞大賞他受賞。

混声合唱団スコラ・カントルム神戸、京都混声合唱団、女声合唱団ヴォワ・ドウ・ママン、サントリー1万人の第九、パナソニック合唱団他指導者。

大阪音楽大学、同志社女子大学講師。日本ドイツリート協会関西支部長、関西二期会会員。小玉晃の音楽学校主宰。シューマンの歌曲集《詩人の恋》に続き、セカンドアルバム《うたの絵本》をリリース。

ホームページは a-kodama.com

ソプラノ ◆ Yuko Oita

老田 裕子



神戸市出身、大阪音楽大学大学院修了。透明感のあるあたたかい声でオペラ「フィガロの結婚」「魔笛」「コジ・ファン・トゥッテ」「ドン・ジョヴァンニ」「清教徒」「椿姫」「ランスへの旅」「カーリュリバー」など主要な役を演唱。宗教曲のソリストとしても多数活躍している。第73回日本音楽コンクール歌曲部門入選、飯塚新人音楽コンクール第1位、第9回松方ホール音楽賞大賞。リサイタルの成果により平成17年度クリティッククラブ奨励賞、平成19年度神戸市文化奨励賞、平成22年度兵庫県芸術文化奨励賞受賞。マーラー作曲「子供の不思議な角笛」全曲演奏に対して平成24年度文化庁芸術祭音楽部門新人賞を受賞。第53回大阪国際フェスティバル2015でアルベルト・ゼツダ指揮「ランスへの旅」コリンナ役を演唱し、その美声と自由な技巧を評価された。2021年東京文化会館舞台芸術創造事業「歌劇ヴォルフ イタリア歌曲集」では歌曲とオペラの融合という新たな形を演唱した。現在、同志社女子大学、武庫川女子大学、大阪音楽大学、各非常勤講師。関西二期会、兵庫県音楽活動推進会議会員。

アルト ◆ Akiko Ogawa

小川 明子



東京藝術大学卒業、同大学院修了。オペラ研修所第10期修了。第61回日本音楽コンクール第2位。第4回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位。1997年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーンに留学。オペラではワーグナー『さまよえるオランダ人』、演奏会形式オペラのシェーンベルク『モーゼとアロン』、R. シュトラウス『サロメ』、ブリテン『ピーター・グライムズ』などに出演。コンサートではベートーヴェン『第九』、ヘンデル『メサイア』、バッハ『マタイ受難曲』等の宗教曲やマーラーの交響曲などで多くのオーケストラや合唱団と共演している。近年は日本歌曲にも力を注ぎ「日本歌曲選」「啄木とみすゞを歌う」「からたちの花 山田 耕稼歌曲集」「荒城の月 国歌を離陸させた偉人たち」「さくら横ちょう 中田喜直4つの歌曲集」「早春賦 日本歌曲選2」「落葉松 アルトとギターで紡ぐ日本の歌」「お菓子と娘 橋本國彦歌曲集」「海ゆかば 信時潔歌曲集」「ふるさと 唱歌・童謡名曲選」のCDをリリース。YouTube「小川明子の声楽講座」を発信中。

テノール ◆ Ryo Ohkubo

大久保 亮



愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学大学院首席修了。オペラではモーツァルト「イドメネオ」「ドンジョヴァンニ」「魔笛」ベートーヴェン「フィデリオ」ワーグナー「ラインの黄金」「神々の黄昏」「パルジファル」J.シュトラウス「こうもり」ビゼー「カルメン」フンパーディンク「ヘンゼルとグレーテル」プッチーニ「ラ・ボエーム」「トスカ」「トゥーランドット」などに出演。また、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「クリスマスオラトリオ」福音史家のほか、ヘンデル「メサイア」ハイドン「天地創造」モーツァルト「ミサ曲ハ短調」「レクイエム」ベートーヴェン「ミサ曲ハ長調」「交響曲第9番」メンデルスゾーン「エリヤ」オルフ「カルミナブラーナ」にテノールソロで出演。リサイタルも定期的に開催し、シューベルト「美しい水車小屋の娘」「冬の旅」「白鳥の歌」シューマン「詩人の恋」マーラー「さすらう若人の歌」を演奏している。声楽を現在、畑儀文氏に師事。

バス ◆ Hiroshi Kuroda

黒田 博



京都市立芸術大学卒業、東京藝術大学大学院修了。イタリアにて研鑽を積む。新国立劇場、二期会、日生劇場、びわ湖ホールなどの主催公演でモーツァルト4大オペラのほか、R. ワグナー『ニュルンベルグのマイスタージンガー』『ローエングリン』『タンホイザー』『パルジファル』やG.ヴェルディ『トロヴァトーレ』『椿姫』『アイダ』『オテロ』『ファルスタッフ』、G. プッチーニ『ラ・ボエーム』『蝶々夫人』『トスカ』、現代の新作などさまざまなオペラに出演。新国立劇場では『軍人たち』『ラインの黄金』『フィデリオ』『ウェルテル』などの他、日本人作曲家によるオペラに多数出演し、市川團十郎(十二代目)演出による『俊寛』、坂田藤十郎(4代目)演出による『修禅寺物語』に主演するほか、『天守物語』『黒船』『夜叉ヶ池』『鹿鳴館』等に出演。演出家宮本亜門からの信頼も厚く、『キャンディード』『パングロスをはじめ』、『ドン・ジョヴァンニ』『フィガロの結婚』『魔笛』ほかで主演している。平成15年度京都市芸術新人賞、平成30年度京都府文化賞功労賞を受賞。国立音楽大学教授。二期会会員。

チェンバロ ◆ Pablo Escande

パブロ・エスカンデ



アルゼンチン生まれ。ブエノスアイレスの音楽院でディプロマを取得後、オランダでチェンバロ、フォルテピアノ、通奏低音をJ・オッホに、作曲をR・レイナに師事。アムステルダム音楽院卒業後より世界各国から委嘱を受け、国際的なアーティスト達により各地で演奏され続けている。2008年アメリカ・アリエノール作曲コンクール名誉賞、2016年イタリア・ノヴァーラ映画音楽作曲コンクール最もオリジナリティのある作曲家賞、TRINAC2017室内楽部門最優秀賞受賞。オランダに在中は数々のオペラやプロジェクトに参加しながら、バロック声楽の名手M.v. エグモントの伴奏者を長年に亘り務めた。現在は日本に在住し、多彩な音楽活動を広げており、作曲や編曲だけでなく、幅広い知識や見解による指揮や伴奏にも定評がある。日本テレマン協会ミュージックアドヴァイザー、テレマン室内合唱団指揮者、KANSAI BAROQUE 指揮者、京都女子大学非常勤講師。

オルガン ◆ Kazuki Tomita

富田 一樹



大阪音楽大学オルガン専攻を最優秀賞を得て首席で卒業。同大学音楽専攻科オルガン専攻を修了。リユーベック音楽大学大学院オルガン科修士課程を最高得点で修了。オルガンをアルフィート・ガスト、古楽をハンス・ユルゲン・シュノールの各氏に師事。ライプツィヒ第20回バッハ国際コンクールのオルガン部門にて日本人初となる第一位と聴衆賞を受賞。これまでに「咲くやこの花賞(音楽部門)」「音楽クリティック賞(奨励賞)」「坂井時忠音楽賞」等を受賞。ドキュメンタリー番組「情熱大陸」(2016年12月)に出演。バロック音楽を得意とし、国内外で数多くの演奏会に出演。YouTubeにてパイプオルガンを紹介する活動も行う。(一社)日本オルガニスト協会会員。大阪音楽大学非常勤講師。

管弦楽 ◆ Ototom Chamber Orchestra

音登夢管弦楽団



京都市立芸術大学卒業、ウィーン留学を経て、長く京都フィルハーモニー室内合奏団のメンバーを務めたヴァイオリンの木村直子、チェロの木村政雄夫妻によって1998年音登夢(おととむ)結成。二人の子供の名前、音登(おと)と登夢(とむ)にちなんで俳優の常田富士男氏が命名。モットーは「音が登って夢になるコンサート」関西を中心に各地で演奏活動を精力的に行っている。2005年5月、第5回大阪国際室内楽コンクールフェスタ部門で本選に進み、ファイナリスト賞受賞。今回の三団合同演奏会にちなみ、心の知れた仲間を集めオーケストラ編成で合唱の伴奏をさせていただきます。

合唱 ◆ Schola Cantorum Kobe

混声合唱団スコラ・カントルム神戸

声楽家、合唱指揮者小玉晃の呼びかけで2018年7月に結成された合唱団。メンバーはオーディションによって選ばれており、独自の発声メソッドを用いたクリアな歌声と美しい発語により、「ことば」を伝えることのできるコーラスを目指している。団名「Schola(学校)、は常に「学び」場でありたいとの願いを表している。結成年12月にヒルトンプラザイースト・アトリウムで開かれたクリスマスナイトコンサート～キャロルから『第九』まで～に出演し好評を得て、翌年引き続きヒルトンプラザ・ウインターコンサートに出演。また、本山ふれあい音楽フェスティバル～初夏に歌う～、生きた建築ミュージアムフェスティバルでは、源田俊一郎編曲「唱歌の四季」などを好演。これまでの演奏曲はブラームス「ドイツレクイエム」やフォーレ「レクイエム」、デュリュフレ「レクイエム」、バッハ「クリスマス・オラトリオ」、ブルックナーのモテット、ラターのクリスマスキャロルなど。

合唱 ◆ Voix de Maman

女声合唱団ヴォワ・ドウ・ママン

1985年、京都教育大学附属京都小学校 PTA コーラス「コールきんもくせい」、ノートルダム学院小学校父母の会コーラスのOG8名で発足。翌1986年指揮者に楠敏也氏を迎え、同志社中学校・高等学校 PTA コーラス「ベルフラワー」OG他を含め18名で再出発する。1987年に同志社新島会館にて第1回コンサートを開催。その後隔年ごとに府民ホールアルティヤ京都コンサートホールムラタなどで定期演奏会を開催。管弦合奏による宗教曲を中心にミュージカル、日本の愛唱歌、現代曲など幅広いレパートリーと真摯な演奏を心がけ毎回好評を得ている。2016年より指揮者に小玉晃氏を迎えて美しく響く声を求めて日々研鑽を積んでいる。また1995年以後は定期演奏会をチャリティーコンサートとして開催し、これまでに、「あしなが育英会」「きらきら園」「にこにこトマト」「光の音符」「京都府立医科大学附属病院小児医療センター」などを支援している。

合唱 ◆ Kyoto Mixed Chorus

京都混声合唱団

1925年頃、京都の音楽家たちによって芽吹き、翌1926年、京都在住の「同声会」(東京音楽学校同窓会)メンバーに音楽愛好家が加わって正式に発足。創立時は音楽の専門教育を受けた者の集団だったが、戦後は本格的にアマチュア合唱団としての組織づくりを始め、現在では20歳から80歳以上まで職業も様々に幅広い年齢層の団員が所属している。創立以来、宗教大曲の演奏を中心に活動を続け、1996年には京都新聞社五大賞の一つ「社会賞」を受賞。2015年には24年間もの長期にわたり当団を指揮した蔵田裕行(現名誉指揮者、関西二期会名誉会長)が退任、小玉晃を新常任指揮者を迎えて翌2016年に創立90周年記念演奏会を行った。支持母体を持たない混声合唱団としてはおそらく国内最古の団体で、まもなく創立100周年を迎える。

合唱出演者

小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃
小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃
小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃
小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃
小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃
小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃
小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃
小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃
小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃
小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃	小玉晃

混声合唱団 スコラ・カントルム神戸

私たちと一緒に歌っていただく方を募集しています

- 練習会場：神戸雲内教会、御影ルーテル教会など
- 練習時間：月曜日 18:30～21:00（月2回）
- 入団金：3000円（学生1000円）／月会費：3000円（学生1000円）



レッスン見学、オーディションについては事務局にメール
でお問い合わせいただくかホームページをご覧ください。

お問い合わせ：スコラ・カントルム神戸事務局
scholacantorumkobe@gmail.com

【次回 第4回演奏会】

2024年3月10日（日）
伊丹アイフォニックホール

モーツァルト **レクイエム**
（オジュトリーガ版）

J. ラター **レクイエム**

団員募集



Voix de Maman

女声コーラス ヴォワ・ドウ・ママン

練習会場：カトリック高野教会（北大路川端通り 西入ル）

練習時間：毎週金曜日 午前 10:00～12:00

入会金：2,000円

月会費：5,000円

（他 コンサート積立金 1,000円）

お問い合わせ（若杉）

075-705-2150

norikowksg@gmail.com

SINCE
1925

京都混声合唱団

- 入団オーディションはありません
 - 入団費 1000円（学生無料）／月会費 3500円（学生1000円）
 - 練習時間：月3回（※）金曜日 18:20～21:00（発声30分込）
 - 練習会場：鴨沂会館新館ホール（河原町荒神口西入北側）
- ※団員数増加の場合は練習回数も増加します



◆練習見学はいつでも構いません◆

☎ 090-1226-1717

http://kyou-kon.jp

ご一緒に歌いませんか？

次回 **創立100周年記念演奏会**

2025年3月中旬（予定）

マタイ受難曲

↑学生団員の
チケット負担は
ありません

Hallelujah! For the Lord God omnipotent reigneth.

The Kingdom of this world is become the kingdom
of our Lord and of His Christ;

and He shall reign for ever and ever.

King of Kings, and Lord of Lords.

混声合唱団 スコラ・カントルム神戸 E-Mail: scholacantorumkobe@gmail.com

女声合唱団ヴォワ・ドゥ・ママン E-Mail: voidemaman@gmail.com

京都混声合唱団 <http://kyou-kon.jp/>

<ご来場のお客様へのお願い>

- 発熱や体調不良時には来館をお控えください。
- 施設内でのマスク着用は個人の判断となります。
- 施設内での咳エチケットや手洗いの励行を推奨します。